

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [事後評価]

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	09	01	04	0401	消防団施設等整備事業

事業期間	☒ 単年度繰返	☐ 期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---	-------------------------------	-----------------

《事業目的》

地域消防力の充実、強化

《事業開始の背景》

火災・地震・風水害等の災害に対応するため、団員約二千名の活動に必要なものを整備している。施設及び装備については、できるだけ長く維持活用することに努めているが、耐用年数等を考慮し、計画的な更新整備が求められている。

《事業概要》

○消火栓維持管理
消火栓の保守及び維持管理 1, 962基

○消火栓等水利施設整備
消火栓の設置及び既存消火栓の移設
・設置10基（花巻地域5基、大迫地域2基、石鳥谷地域2基、東和地域1基）
・移設2基(花巻地域2基)

○消防団装備施設整備
火災等災害対応のための施設・装備の更新
・消防屯所1棟、消防ポンプ自動車1台、小型動力ポンプ積載車2台、小型動力ポンプ軽積載車1台)

市民参画の有無 [対象外]

《事業展開の留意事項》

《成果指標》		項目	単位	区分	24 年度(実績)	25 年度(実績)	26 年度(計画)
①	消防水利の充足整備	%		目標	100	100	100
				実績	51.7	51.9	
②	管轄人口における消防団車両等の充足率	台		目標	4	4	5
				実績	4	4	
③				目標			
				実績			

分野	担当部(機関)	担当課(機関)	担当係長	(内線)
暮らし	消防本部	総務課	阿部旭	10-376

	25 年度	当初(現計)	補 正	25 年度	26 年度
事業費	74,040				
財源内訳	国県支出金	2,415			
	地方債	48,700			
	その他				
	一般財源	22,925			

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること

○ 消防屯所の整備 15,624 千円

所属	団員数	地区名	建築年	新築概要	金額	内訳
第16分団第4部	16	八重畑(滝田)	S46	木造平屋建 延床面積 73㎡	15,624	建築・外構・乾燥棟・解体
計					15,624	(充当財源：合特債10,900)

○ 消防団車両の整備 34,488 千円

所属	団員数	地区名	購入年	更新車両	金額	内訳
第9分団第2部	25	内川目(立石)	H3	消防ポンプ車	17,273	車両購入
第15分団第1部	12	八重畑(関口)	H4	小型ポンプ積載車	5,649	車両購入
第6分団第3部	11	太田(下坂井)	H4	小型ポンプ積載車	5,649	車両購入
					1,785	小型動力ポンプ購入
第9分団第2部2班	10	内川目(鍋屋敷)	H5	小型ポンプ軽積載車	3,990	車両購入
計					34,346	(充当財源：合特債27,900)

○ 消防水利施設の整備 13,498 千円

区分	地区名	整備内容	金額	内訳
防火水槽	谷内第2行政区	耐震性防火水槽 40㎡	5,355	新設工事
消火栓	市内全域	10基(花巻5大迫2石鳥谷2東和1)	8,143	負担金
計			13,498	(充当財源：合特債2,200) (充当財源：国庫2,415)

○ 消防水利施設の維持管理 7,281 千円

◇消火栓 維持管理負担金(1,974基) 5,770 移設工事負担金(1基) 496 標識設置506千円

◇防火水槽 修繕3箇所(花巻桜町、石鳥谷鱒沢、石鳥谷長沢) 345千円

◇防火溜池 泥上げ・草刈り 80 補修資材 84千円

○ 消防屯所・消防水利施設の解体撤去 3,149 千円

◇消防屯所 第2分団第9部(鍋倉)旧屯所解体 987千円

◇防火水槽 2基(松園町、新堀4区) 1,568千円

◇消防屯所 第9分団第1部3班(上八木沢)旧屯所解体111千円

◇ホース乾燥塔 第7分団第4部(中笹間)、第5部(栃内)ホース乾燥塔解体483千円

消防団施設等整備事業(総括表)

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [事後評価]

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	09	01	04	0401	消防団施設等整備事業

総合計画	政策	都市内分権構築で市民参画・協働のまちづくり	施策	5-3	防災体制・減災対策の拡充
目的	地域消防力の充実、強化				
対象	市民				
意図	消火栓維持管理や防火水槽等の計画的な整備及び消防屯所や消防団のポンプ自動車、小型動力ポンプ及び積載車を計画的に更新整備し消防力の充実強化を図る。				

《事業概要》…上記目的を実現するための事業手法を記載すること

○消火栓維持管理 消火栓の保守及び維持管理 1, 962基	
○消火栓等水利施設整備 消火栓の設置及び既存消火栓の移設 ・設置10基（花巻地域5基、大迫地域2基、石鳥谷地域2基、東和地域1基） ・移設2基（花巻地域2基）	
○消防団装備施設整備 火災等災害対応のための施設・装備の更新 ・消防屯所1棟、消防ポンプ自動車1台、小型動力ポンプ積載車2台、小型動力ポンプ軽積載車1台)	
市民参画の有無 [対象外]	
市民協働の形態	☐ 共催 ☐ 実行委員会・協議会 ☐ 事業協力・協定 ☐ 後援・協賛 ☐ 補助・助成 ☐ 委託

	活動指標（上記「事業概要」に対応）	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
①	消防水利の整備	箇所	計画	10	12	11
			実績	9	11	
②	消防団車両等の更新整備	台	計画	4	5	5
			実績	4	4	
③	消防屯所の改築	箇所	計画	3	1	1
			実績	3	1	
	成果指標（上記「意図」に対応）	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
①	消防水利の充足整備	%	目標	100	100	100
			実績	51.7	51.9	
②	管轄人口における消防団車両等の充足率	台	目標	4	4	5
			実績	4	4	
③			目標			
			実績			

要因分析	達成度	☐ 目標値より高い ☐ 概ね目標値どおり ☒ 目標値より低い
団車両等の整備は概ね計画的な執行ができた。しかし、消防水利の充足率については、目標値到達までに20年程度を要する。		

《環境変化、意見・要望》…環境変化はないか？ 意見や要望が寄せられていないか？

地域住民から消火栓の設置要望や撤去要望がある。

目的妥当性	公共関与の妥当性 ☒ 妥当である ☐ 見直し余地がある ☐ 妥当でない	住民を火災等の災害から守る消防責任を果たすため必要である。
有効性	成果の向上余地 ☒ 向上余地がある ☐ 向上余地がない	消防水利の充足率は、まだ100%にいたっていない。
効率性	事業費・人件費の削減余地 ☒ 事業費の削減余地がある ☐ 人件費の削減余地がある ☐ どちらも削減余地がない	消防屯所は修繕等により建物の延命措置を講じる。
公平性	受益と負担の適正化余地 ☒ 受益機会の見直し余地がある ☐ 費用負担の見直し余地がある ☐ 適正である	消防水利が充足されている地域と不足している地域の格差を解消する必要がある。

《総合評価》…上記評価結果の総括

市民の生命財産を守る消防団の活動拠点となる消防屯所の機能向上図り、老朽化した施設の更新を行い、市民に防災に対する安心感を与えた。また、消防車両の更新に伴い、緊急車両の早期出動が図られた。